

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月30日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2540 URL <https://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長COO（氏名） 田中 英雄
 問合せ先責任者（役職名） 上席執行役員 経営企画部長（氏名） 井川 明（TEL）03-3462-8138
 半期報告書提出予定日 2024年10月31日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,710	△4.2	71	△53.9	317	△24.3	238	△15.5
2024年3月期中間期	4,916	△4.8	154	△76.6	419	△52.0	281	△54.0

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	17.20	—
2024年3月期中間期	20.40	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	54,049	45,825	84.8
2024年3月期	54,417	46,642	85.7

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 45,825百万円 2024年3月期 46,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	45.00	45.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,320	10.5	350	△26.1	770	△18.9	660	△30.7	47.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	16,500,000株	2024年3月期	16,500,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	2,648,302株	2024年3月期	2,666,357株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	13,842,268株	2024年3月期中間期	13,823,121株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、景気の先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、経営理念「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」の下、事業ビジョン「すこやかでより良い時間を願う人々を応援する」に基づき、中期経営計画(2022年4月～2027年3月)において、「次の100年に向けた成長投資と持続的成長基盤の確立」を基本戦略と定め、「養命酒」及び酒類・食品の卸売販売を中心とする既存事業の収益力強化(深化)と、これまで取り組んできた「くらすわ」ブランドを中心とした新たな事業基盤の構築(探索)を同時に行う「両利きの経営」を推進し、収益性を確保しつつ成長投資を行い、新たな企業価値の創造に取り組んでおります。

当中間会計期間の業績は、売上高はくらすわ関連事業が伸長したものの、「養命酒」が前年を下回ったことにより4,710百万円(前年同期比4.2%減)、営業利益は71百万円(前年同期比53.9%減)、経常利益は317百万円(前年同期比24.3%減)、中間純利益は238百万円(前年同期比15.5%減)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

<養命酒関連事業>

国内「養命酒」については、テレビCMや新聞等の広告を実施したほか、卸店やドラッグストア等主要販売チャネルである小売店と協働して陳列強化等を行い売り場づくりに取り組んだものの、物価上昇による消費行動への影響等の要因により、売上高は3,423百万円(前年同期比3.9%減)となりました。酒類・食品については、「グミ×サプリ」等の売上が前年を下回ったことにより、355百万円(前年同期比6.0%減)となりました。海外(海外「養命酒」を含む国外販売)については、「養命酒」の売上が前年を下回ったことにより、136百万円(前年同期比38.8%減)となり、不動産賃貸・太陽光発電については、189百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

以上により、養命酒関連事業の売上高は4,105百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

また、新商品として「養命酒製造クロモジのど飴和みミント」の販売を開始しました。

<くらすわ関連事業>

店舗は、都内での催事の実施等により堅調に推移しました。通信販売は、「五養粥」、「幸健生彩DX」が売上に寄与し、好調に推移しました。外販(他社チャネル販売)は、前年同期並みに推移しました。

以上により、くらすわ関連事業の売上高は605百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

おいしい体験、たのしい体験、すこやかな体験を通して、“すこやかなくらし”を提供する体験型施設「くらすわの森」は、2024年10月3日にグランドオープンしました。

また、漢方製剤、健康サポートフーズ・グッズ等を展開する通信販売専用ブランド「まいにち養生365(まいにちようじょうさんろくご)」の新商品として、機能性表示食品「ぐっすりタイム」、漢方製剤「桃核承気湯(とうかくじょうきとう)」の販売を開始しました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ367百万円減少し、54,049百万円となりました。これは主に有形固定資産が体験型施設「くらすわの森」への設備投資等により2,097百万円増加した一方で、現金及び預金が2,648百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ449百万円増加し、8,223百万円となりました。これは主に固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が188百万円減少した一方で、流動負債のその他に含まれる未払金が763百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ817百万円減少し、45,825百万円となりました。これは主に中間純利益238百万円の計上及び配当金623百万円の支払いにより利益剰余金が385百万円、その他有価証券評価差額金が468百万円それぞれ減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ2,048百万円減少し、2,346百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、420百万円の支出（前年同期比281.6%増）となりました。これは主に税引前中間純利益319百万円、減価償却費268百万円等の増加要因と、売上債権の増加額140百万円、棚卸資産の増加額104百万円、未収消費税等の増加額335百万円、法人税等の支払額151百万円等の減少要因によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,005百万円の支出（前年同期は525百万円の収入）となりました。これは主に有価証券の償還による収入500百万円等の増加要因と、有形固定資産の取得による支出1,593百万円等の減少要因によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、621百万円の支出（前年同期比18.1%減）となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2024年10月10日に2025年3月期中間業績予想の修正を行いました。通期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,654,876	5,006,659
売掛金	2,212,684	2,353,503
有価証券	500,000	—
商品及び製品	545,294	663,994
仕掛品	165,666	170,401
原材料及び貯蔵品	1,114,034	1,095,329
その他	116,017	592,222
流動資産合計	12,308,573	9,882,112
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	4,135,640	7,363,455
その他 (純額)	5,594,001	4,463,640
有形固定資産合計	9,729,641	11,827,095
無形固定資産		
	187,533	165,020
投資その他の資産		
投資有価証券	26,320,278	25,621,584
長期預金	5,100,000	5,700,000
その他	780,525	860,810
貸倒引当金	△8,739	△6,740
投資その他の資産合計	32,192,063	32,175,654
固定資産合計	42,109,238	44,167,770
資産合計	54,417,812	54,049,882
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,759	196,632
未払法人税等	134,363	49,819
賞与引当金	206,002	212,395
その他	996,184	1,686,783
流動負債合計	1,480,309	2,145,631
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	30,000
その他	6,246,179	6,048,316
固定負債合計	6,294,529	6,078,316
負債合計	7,774,839	8,223,947

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	724,666	760,741
利益剰余金	39,153,410	38,767,774
自己株式	△4,785,723	△4,784,939
株主資本合計	36,742,353	36,393,577
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,900,619	9,432,358
評価・換算差額等合計	9,900,619	9,432,358
純資産合計	46,642,973	45,825,935
負債純資産合計	54,417,812	54,049,882

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,916,646	4,710,751
売上原価	1,973,561	1,941,799
売上総利益	2,943,084	2,768,951
販売費及び一般管理費	2,788,675	2,697,790
営業利益	154,409	71,161
営業外収益		
受取利息	25,881	26,827
受取配当金	201,852	227,797
その他	50,223	8,536
営業外収益合計	277,957	263,161
営業外費用		
支払利息	12,737	14,004
その他	349	2,900
営業外費用合計	13,087	16,904
経常利益	419,280	317,418
特別利益		
投資有価証券売却益	—	64,944
収用補償金	—	736
特別利益合計	—	65,681
特別損失		
固定資産除却損	9,969	63,870
特別損失合計	9,969	63,870
税引前中間純利益	409,310	319,229
法人税、住民税及び事業税	94,000	70,000
法人税等調整額	33,347	11,110
法人税等合計	127,347	81,110
中間純利益	281,962	238,119

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	409,310	319,229
減価償却費	270,319	268,508
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△1,999
賞与引当金の増減額(△は減少)	△49,599	6,393
受取利息及び受取配当金	△227,734	△254,625
支払利息	12,737	14,004
収用補償金	—	△736
固定資産除却損	9,969	63,870
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△64,925
売上債権の増減額(△は増加)	△320,452	△140,819
棚卸資産の増減額(△は増加)	△118,438	△104,730
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,365	52,872
未払費用の増減額(△は減少)	115,727	△1,277
未払又は未収消費税等の増減額	△35,549	△335,578
その他	△76,722	△322,188
小計	△22,796	△502,003
利息及び配当金の受取額	227,648	255,026
利息の支払額	△17,774	△24,085
収用補償金の受取額	—	2,058
法人税等の支払額	△297,232	△151,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	△110,155	△420,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	△1,100,000
定期預金の払戻による収入	2,100,000	1,100,000
有価証券の償還による収入	—	500,000
有形固定資産の取得による支出	△506,173	△1,593,361
無形固定資産の取得による支出	△68,115	△8,140
投資有価証券の取得による支出	△91	△95
投資有価証券の売却による収入	—	95,644
投資活動によるキャッシュ・フロー	525,618	△1,005,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△600,000	△600,000
自己株式の取得による支出	—	△149,591
自己株式の売却による収入	—	149,168
配当金の支払額	△758,400	△620,852
その他	△461	△461
財務活動によるキャッシュ・フロー	△758,861	△621,736
現金及び現金同等物に係る換算差額	160	△135
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△343,237	△2,048,216
現金及び現金同等物の期首残高	2,173,985	4,394,876
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,830,747	2,346,659

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	養命酒 関連事業	くらすわ 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,217,207	562,095	4,779,303	—	4,779,303
その他の収益	137,343	—	137,343	—	137,343
外部顧客への売上高	4,354,551	562,095	4,916,646	—	4,916,646
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,354,551	562,095	4,916,646	—	4,916,646
セグメント利益又は損失(△)	1,170,991	△193,160	977,830	△823,421	154,409

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△823,421千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	養命酒 関連事業	くらすわ 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,958,871	605,331	4,564,203	—	4,564,203
その他の収益	146,547	—	146,547	—	146,547
外部顧客への売上高	4,105,419	605,331	4,710,751	—	4,710,751
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,105,419	605,331	4,710,751	—	4,710,751
セグメント利益又は損失(△)	1,124,091	△249,895	874,195	△803,034	71,161

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△803,034千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。